

小6国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 86.3%

ねらい：漢字の読み書きが正確にできるかを問う。

分析と対策：漢字は音読みと訓読みを正確に身に付け、漢字の形もまちがえないように覚えることが大切です。また、同じ読みをする漢字も多くありますので、文脈にも注意して漢字を覚えましょう。

2 ことばのきまり、熟語 87.9%

ねらい：文の書きかえ、強調した言葉、呼応の副詞、文の組み立て、漢字二字の成り立ちを問う。

分析と対策：(1)主語が変わった場合の文の変化を問う問題です。「友だちが」を主語にした場合、述語がどうなるかを考えて、ほかの部分も変化させましょう。(2)文脈から正しい強調の言葉を見つける問題です。(3)呼応の副詞を答える問題です。(4)修飾している言葉を見つける問題です。長い文だと難しくなりますが、ひとつひとつの言葉がどのような役割をしているのかを考えましょう。(5)漢字の意味を考えた上で、熟語になるとどういった成り立ちになるかを判断しましょう。

3 物語文の読み取り 55.8%

ねらい：登場人物の会話の内容や態度・行動から心情を読み取る。

分析と対策：お京、舞波、カイの言動から、それぞれの気まぜい雰囲気を読み取ります。(1)登場人物の本心を読み取る問題です。(2)登場人物がどのような意図で発言しているのかをつかみます。

(4)登場人物がお互いの言動から何を感じているのかを読み取る問題です。(5)文章の前後関係から登場人物の心情をつかむ問題です。(6)ほかの登場人物から何を言われたのかを答える問題です。(7)傍線部⑥の表現と、その前にあった発言から心情を読み取る問題です。(8)登場人物の人物像を本文からつかむ問題です。会話文や行動に着目しましょう。

4 随筆の読み取り 60.4%

ねらい：文章の話題を読み取り、筆者の思いをつかむ。

分析と対策：この文章は、「時間」をテーマにして述べられています。(1)脱文の内容を把握し、適切な場所に入れます。前後関係に注意しながら考えましょう。(2)第一段落の内容から読み取りましょう。(3)「昔」と「現代」の感覚のちがいについて答える問題です。(4)接続語を答える問題です。前後の関係から答えましょう。(5)筆者が挙げた具体例について理解し、そのことをまとめることができるのかを問う問題です。「デジタル世界の人間」は、微妙な時間においてどのような対応をしているのかをおさえます。(6)本文全体を理解し、さらに筆者の考えを読み取ることができるかを問う問題です。筆者の思いはどのようなものなのかをつかみ、その内容と合ったものを答えましょう。

全体の平均点は 69.6点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。